



2022年8月12日

各位

上場会社名 株式会社エフオン
代表者名 代表取締役社長 島崎 知格
コード番号：9514 東証プライム)
問合せ先 常務取締役 小池 久士
(TEL.03-4500-6450)

2022年6月期通期連結業績の予想値と実績の差異等に関するお知らせ

2022年2月10日に公表いたしました2022年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日)の通期業績予想と、本日公表いたしました実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、2022年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日)の個別業績につきましても、前事業年度の実績値と差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績の予想値と実績の差異について

2021年6月期連結業績と予想値の差異(2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	1,650	1,500	1,050	48.60
当期実績(B)	13,258	1,299	1,174	893	41.46
増減額(B-A)	△241	△350	△325	△156	—
増減率(%)	△1.8	△21.2	△21.7	△14.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年6月期)	13,144	2,584	2,397	1,673	77.35

2. 通期連結業績と予想値の差異の理由

売上高は省エネルギー支援サービス事業の新規案件の受注や電力小売事業の新規開拓を停止したことで想定額をやや下回る状況で推移いたしました。営業利益以下各利益に関しては、木質バイオマス発電所で使用する燃料チップにおいて、原木市場の高止まりが全国に波及し未利用木材の調達に注力したため使用する燃料の含水率が増加して、結果として消費量が想定を上回りコストを押し上げる要因となりました。そのほか、新宮発電所の稼働延期に関連して稼働準備にかかる消耗品調達のほか、燃料調達や原木販売に係る輸送コスト、外注費用等の増加により全体として想定通り進捗しなかったことで予想値を下回る結果となりました。

3. 個別業績の前期実績との差異について

2022年6月期通期個別業績の前期業績値との差異（2021年7月1日～2022年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	8,370	1,246	1,236	57.13
当期実績 (B)	3,426	547	543	25.22
増減額 (B-A)	△4,943	△698	△692	
増減率 (%)	△59.1	△56.0	△56.0	

4. 個別業績の前期実績との差異の理由

売上高は、当社グループの発電所建設工事が最終段階となり工事進行基準売上高が減少したことによります。各利益につきましては、子会社からの受取配当金が前期と比較して大幅に減少したほか、本社移転に係る費用が発生した等によります。

以 上